

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年3月22日

事業所番号	2793200045	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	社会福祉法人 笑壺の会	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホームごほん家族八雲西町	評価調査日	平成 21 年 3 月 19 日
所在地	守口市八雲西町2丁目12番-13号 電話 06-6993-6162	評価確定日	平成 21 年 3 月 24 日

【情報提供票より】 (平成21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年5月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 6人
職員数	10 常勤 2人 非常勤 8人 常勤換算 3.7人

(2) 建物概要

建物の構造	単独 木造 1階建ての(1階部分)
-------	----------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	60,000円	その他の経費 (月額)	15,000円	
敷金	無			
保証金の有無	有 300,000円			
(入居一時金を含む)	償却有 入居1ヶ月以内全額返済 以後返却なし			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり		38,000円	

(4) 利用者の概要 (2月1日現在)

利用者人数	6名	男性	2名	女性	4名
要介護1	0名	要介護2	5名		
要介護3	0名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	83.5才	最低	69才	最高	99才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	天野医院 吉田歯科 介護老人保健施設長生苑
---------	--------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

運営者と管理者が一体となり、熱心、且つ、真摯に、毎日のホーム運営に取り組んでいる。職員も前法人時代からの勤続者が6名でチームワークよく、暖かく気付きの介護が行われている。又、付近は住宅街で小公園、遊歩道があるので、ホームの方針として天気さえ良ければ、利用者は毎日、出来れば2回の散歩を楽しんでいる。そして、散歩の途中で出会った近隣の方々と、笑顔で交流している

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	<p>今回が初回の評価です</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>管理者が原案を下書きし、職員と共に反省と改善について検討をし作成しているが、職員の半数が、前法人時代からの経験も踏まえているので気心も知れ、活発な発言、提案をしている状況が伺える。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)</p> <p>運営者の不慣れもあって、運営推進会議の開催が約2年間出来ていなかったが、包括支援センターの指導も得て、今年の4月に開催を決定している</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)</p> <p>利用者への、職員の気付きと寄り添う介護により、ご家族の方々は、アンケートに表われているように、安心して生活している。利用者の中には、主治医の定期受診のため、月一回、一人でバスと私鉄を乗り継いで往復している方も居られるが、この方には医療関係者と、こまめに相談し、通院治療を続けられるように支援している</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)</p> <p>ホームとして自治会に加入しており、自治会の行事案内には利用者の中から希望者も参加しているは、前向きに取り組みたい意向である</p>

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「日々穏やかに笑って暮らせるように」の理念を掲げ、利用者と一緒に楽しい生活を送っている	○	理念の掲示を前面に出すよう検討して欲しい
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者と管理者は日夜、理念の実践に、前向きに明るく取り組んでいる		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地元の自治会に加入し、少しずつ交流を進めている。利用者と職員はよく散歩をしているが、途中でお会いする地元の方々とは、日常のご挨拶を交わしている	○	地元との交流はあせらずに自然体で、認知症への広報活動は包括センターと協力して、前向きにご検討ください
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者と管理者は、評価の意義を理解し、利用者に喜んで頂ける介護の努力を重ねている		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	この1年間に運営推進会議は開催出来なかったが、今年は、第一回の開催日を、4月25日と定めて準備をしている	○	開催当日に次回開催日時を定め、継続できるように努力して欲しい
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターの職員との間で情報の交流に努めている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々に合わせた報告をしている	毎月の請求書には、必ず近況報告の文書を同封している		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時には面談し、近況報告をしながら、ご意見等も聞きだすよう努力している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		<p>○</p> <p>介護のレベルは、職員によって作られます。職員の研修は、内外を問わず長期計画で、職員の意識も大切にしながら進めて欲しい</p>
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>本人の話を良く伺うように、何度か訪問し、家族とも会話し合い納得して頂けている</p>
--	----	----	--	--	---

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>職員は本人との話し合いで、希望や思い出話を聞き出すように努めている</p>
--	----	----	---	--	--

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		<p>職員は日常の会話の中で、一人ひとりとの対話を重ねて、希望を聞き出すように努めている</p>
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		<p>○</p> <p>職員の利用者一人ひとりの把握できた観察記録の纏め方については、実施計画案を職員有志と十分に検討を重ねてください。その後、全員で取り組めるよう、体制作りから少しずつ始めてください。大切なことは、試行錯誤になるかも知れませんが、諦めないで進めて下さい</p>
--	----	----	---	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	職員は看護師との連携によって適切な介護をおこなっており、医師等の意見を頂いた上で、新計画をご家族と話し合って作成している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の要望に応じた柔軟な支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	利用者の以前からの医師への受診、ホームの契約医師の往診等、適切な治療を受けて頂けるよう支援している		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化、終末看取りの中で、命の大切さを重く受け止めている。対応方針は、ご家族の意思を確認しつつ、医療体制を整え、スタッフ間でミーティングを重ねている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉遣いには入念に指導を重ねている、個人情報管理についても配慮している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先の介護は行っていないが、利用者の希望のすべてには、対処できていないこともある		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が献立、仕入れを行ってリクエストにも応じている。利用者の手伝いは、出来る範囲内でもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		出来るだけ希望に添えるように、入浴してもらっている

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		夫々、好みに合った楽しみごとで過ごしていただけるように配慮している
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		利用者には、天気さえ良ければ出来るだけ散歩をして頂いている。小公園、遊歩道が近所があり、有効に利用している

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		玄関は、原則的に鍵なしとしている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	消防署との連携で防災と、罹災時の避難訓練の指導を受けて欲しい

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		職員の献立ではあるが体調管理、食物及び水分摂取量は把握している。体重管理もできている
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		建物は改築ではあるが、グループホーム専用の近代的な設計施行で明るい雰囲気となっている。室内も、季節の雰囲気が感じられるように、配慮している
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		個室は、各自が自由に家財を持ち込んで楽しんでいる